==========================================================================

\*\* 日本学術会議ニュース・メール　\*\*　No.517\*\*　2015/10/30

==========================================================================

++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++

◇日本学術会議　近畿地区会議学術講演会

　　「食と文化―歴史から未来へ」の開催について（ご案内）

◇日本学術会議化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同触媒化学・化学工

   学分科会、からのお知らせ

   公開シンポジウム『人工光合成』の開催について（ご案内）

◇日本への国際会議誘致に関するアンケート調査

　（観光庁からのお知らせ）【再掲】

++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++++

■---------------------------------------------------------------------------

　日本学術会議　近畿地区会議学術講演会

「食と文化―歴史から未来へ」の開催について（ご案内）

---------------------------------------------------------------------------■

◆日時：平成27年11月7日（土）13:00～17:00

◆場所：奈良女子大学講堂（奈良市北魚屋東町）

◆主催：日本学術会議近畿地区会議、奈良女子大学

◆次第：

　・開会の挨拶

　　　梶　茂樹（日本学術会議近畿地区会議代表幹事、京都大学大学院アジア・アフリ

　　　　　　　カ地域研究研究科教授）

　　　今岡　春樹（奈良女子大学学長）

　　　井野瀬　久美惠（日本学術会議副会長、甲南大学文学部教授）

　・趣旨説明

　　　上野　民夫（日本学術会議近畿地区会議学術文化懇談会委員、京都大学名誉教授）

　・基調講演

　　「風土がはぐくんだ食の文化―過去・現在・未来」

　　　佐藤　洋一郎（人間文化研究機構理事）

　・報告

　　「食の歴史―万葉の文化と食」

　　　伏木　亨（龍谷大学農学部教授）

　　「現代日本の栄養不良を考える」

　　　久保田　優（奈良女子大学名誉教授、龍谷大学農学部教授）

　　「食の未来―近大マグロ」

　　　熊井　英水（近畿大学名誉教授）

　・全体討論

　・閉会の挨拶

　　　小路田　泰直（奈良女子大学副学長）

  ・総合司会

　　　三成　美保（奈良女子大学研究院生活環境科学系教授、日本学術会議会員）

◆参加申込：不要

◆参加費：無料

◆詳細はこちら

　　<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/216-s-1107.pdf>

◆お問い合わせ先：日本学術会議近畿地区会議事務局（京都大学内）

　　　　　　　　　TEL：075-753-2270　FAX：075-753-2042

■-------------------------------------------------------------------------

日本学術会議化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同触媒化学・化学工

学分科会、からのお知らせ

公開シンポジウム『人工光合成』の開催について（ご案内）

-------------------------------------------------------------------------■

・日時　平成27年12月9日（水）13:00～18:10

・場所　日本学術会議講堂

・主催　日本学術会議化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同触媒化

　　　　学・化学工学分科会、

　　　　文部科学省研究費補助金　新学術領域「人工光合成による太陽エネルギ

　　　　ーの物質変換：実用化に向けての異分野融合」（AnApple）

　　　　科学技術振興機構人工光合成化学プロセス技術研究組合(ARPChem)「二酸

　　　　化炭素原料化基幹化学品製造プロセス技術開発（人工光合成プロジェト）」

・共催　東京理科大学研究戦略産学連携センター

・後援　なし

・開催趣旨　地球規模でのエネルギー・環境問題の解決および化学工業における

新たな産業創成として，人工光合成技術の確立が強く望まれている。人工光合成

技術が確立できれば，化石燃料を消費せずに，太陽光をエネルギー源，水と二酸

化炭素を原料として，水素，ガソリン，オレフィン等のソーラーフュエルやソー

ラーケミカルを製造することができるようになる。そのため，世界中でソーラー

フュエル製造を目指したプロジェクトが走っており，数多くの国際会議が開催さ

れている。日本においても文部科学省研究費補助金　新学術領域「人工光合成に

よる太陽エネルギーの物質変換：実用化に向けての異分野融合」（AnApple），科学

技術振興機構「低エネルギー、低環境負荷で持続可能なものづくりのための先導

的な物質変換技術の創出」（ACT-C），人工光合成化学プロセス技術研究組合（ARP

Chem）に代表される人工光合成研究プロジェクトが走っている。日本のプロジェ

クトの一つの特徴として産官学が協力して，人工光合成の確立に向けて取り組ん

でいることが上げられる。そこで，本シンポジウムでは，プロジェクト総括，お

よび産官学を代表する研究者による講演を通して，日本における人工光合成研究

の最前線を紹介し，参加者およびプロジェクト間の情報交換・意見交換をするこ

とを目的とする。そして，オールジャパンとしての今後の方向性を探っていく。

・次　第：

　13:00-13:30　趣旨説明，人工光合成とは，世界の研究動向

　　　工藤　昭彦(日本学術会議連携会員、東京理科大学理学部応用化学科教授)

　13:30-14:10　科研費新学術領域およびJSTさきがけプロジェクトにおける人工

　　　　　　　 光合成関連研究

　　　井上　晴夫（日本学術会議連携会員、首都大学東京　人工光合成研究セン

　　　　　　　　　ターセンター長、新学術領域「人工光合成」代表、さきがけ

　　　　　　　　　「光エネルギーと物質変換」研究総括）

　14:10-14:50　 JST ACT-Cプロジェクトにおける人工光合成関連研究

　　　國武　豊喜（公益財団法人北九州産業学術推進機構理事長、国立研究開発

　　　　　　　　　法人科学技術振興機構 ACT-C 研究総括）

　14:50-15:30　 NEDO人工光合成プロジェクトの紹介と産業界から見た人工光合

　　　　　　　　成技術

　　　瀬戸山　亨（(株)三菱化学科学技術研究センター瀬戸山研究室室長、三菱

　　　　　　　　　化学（株）フェロー、人工光合成プロジェクトリーダー）

　15:30　休憩

　16:00-16:40　官側からの視点「人工光合成による水素と有用化学物質製造」

　　　佐山　和弘（産業技術総合研究所太陽光発電研究センター首席研究員）

　16:40-17:20　大学からの研究成果「光触媒材料を用いる水分解反応」

　　　堂免　一成（東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻教授）

　17:20-18:00　産業界からの研究成果「水と二酸化炭素からギ酸を合成する人

工光合成技術の現状」

　　　森川　健志（株式会社豊田中央研究所森川特別研究室室長）

　18:00-18:10　閉会の挨拶

　　　阿尻　雅文(日本学術会議第三部会員、東北大学原子分子材料科学高等

　　　　　　　　 研究機構教授)

＜お問合わせ・申し込み先＞

 東京理科大学　工藤昭彦

  Email: a-kudo@rs.kagu.tus.ac.jp

■---------------------------------------------------------------------------

　日本への国際会議誘致に関するアンケート調査

　（観光庁からのお知らせ）【再掲】

---------------------------------------------------------------------------■

観光庁では、国際会議の誘致・開催の国際競争力強化を検討するうえで、大学関

係者の方々や研究者の皆様のニーズ把握のためのアンケート調査を、今回行わせ

ていただきたいと思っております。

本アンケートは、日本における国際会議の誘致力向上に向けた施策の参考とする

ことを目的に実施いたします。

お忙しいところお手数をお掛けしますが、学術振興のため、ぜひ御協力をお願い

いたします。

ご回答は下記のURLからお願いいたします。

<https://truenavi.net/enq/convention.html>

回答受付期間：2015年10月23日～11月8日

本調査は、観光庁より委託を受けた下記の機関が事務処理を実施しています。

本調査の内容及びご回答方法等についての疑問点、ご質問等がございましたら、

下記担当者までお問い合わせください。

（株）野村総合研究所　社会システムコンサルティング部　八亀、溝口、岡村

 TEL: 03-5533-2203、FAX: 03-5533-2900

★-----------------------------------------------------------------------☆

　日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。

　　　　　　　　　 アカウントは、@scj\_info　です。

　　　　　　　 日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから

　　　　　　　　　　　 <http://twitter.com/scj_info>

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

　　　　　　 学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

　　　 <http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

===========================================================================

　日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転

載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけ

るようにお取り計らいください。

　本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらか

じめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記

載がありますので、そちらからお願いいたします。

===========================================================================

　　発行：日本学術会議事務局　<http://www.scj.go.jp/>

　　　　 〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34